

陸前高田の魅力を語る

- ※左から順に
- THE BLUE SUP 植田 豊 デンゼル さん (30)
 - 陸前高田市森林組合 遠藤 優 輝 さん (27)
 - 一般社団法人 陸前高田市観光物産協会 菅野 睦 子 さん (24)
 - 社会福祉法人 大洋会 慈愛福祉学園デイサービスセンター 佐藤 あかり さん (22)
 - 医療法人 勝久会 介護老人保健施設松原苑 藤丸 颯 汰 さん (21)
 - 議長 及川 修 一



議 市制施行70周年に当たる今年。本市で活躍する5人の青年に未来を語っていただきます。自己紹介をお願いします。



植田豊デンゼルさん

菅 自己紹介
神奈川県出身で、地域おこし協力隊3年目で陸前高田市観光物産協会に勤務しています。観光情報の発信を担当していて、特にインスタグラムなどのSNSに力を入れています。次世代の観光客に陸前高田を知ってもらうためがんばっています。夏はライフセーバーとしても活動しています。

植 奥州市出身で、父がカナダ人、母が日本人のハイフです。以前は八戸市で教員をしていました。今は地域おこし協力隊として、広田町の大野海岸で、SUP(スタンドアップパドル)の普及活動に取り組んでいます。将来的には、「陸前高田II SUPのまち」と言われるようになれば嬉しいです。



遠藤優輝さん



菅野睦子さん



佐 米崎町出身で、今は高田町に住んでいます。一関の短大に進学後、慈愛福祉学園デイサービスセンターで保育士として働いています。障がいのある方や児童を日中お預

かりする施設です。仕事を離れると、太鼓チーム「天道虫の会」に参加し、イベント出演もしています。



佐藤あかりさん

藤 米崎町出身です。松原苑で介護員をしています。今年には介護福祉士の資格試験に挑戦する予定です。将来的にはケアマネージャーを目指しています。



藤丸颯太さん

休日には溪流釣りやツーリングを楽しんでいます。

自分の仕事の強み、悩み
議 仕事をする上で自信を持つているものは何ですか。あるいは、悩みなどありますか。
藤 利用者のためになることを常に意識しています。認知症の人もしらっしやるので、事故が起きないように職員間で話し合い、他に負けないくらいの対策に取り組んでいます。
佐 私も利用者のためになることを常に考えるようにしています。私は主に18歳以下の利用者として接するのですが、言葉が出なくても感情を伝える方法を教えたり、就労施設に移る時のために、この子はどんなことが得意で苦手なのかを職場のみんなで様子を見ながら分析しています。

遠 自分の強みは、林業アカデミーで学んできたことと合わせ、伐採から搬出まで作業全般に対応できることだと思っています。

植 私は、「誰かのために」というより、SUP好きで、その楽しさを多くの人に伝えたいという気持ちで働いています。悩みは、冬場の集客ですね。SUP以外でも海と関わる機会をつくれればと模索しています。

菅 強みは情報収集力だと思っています。道の駅で来訪者の動向を分析したり、データを基に戦略を考えたりするのが面白いです。情報を基に、まちをどう動かすかを考えるのが観光の醍醐味です。

取り組みたいこと
議 これから取り組みたいことは何ですか。

藤 介護という仕事を もっと知ってもらえる場をつくりたいです。「大変そう」「体力が必要」と思われがちですが、実際はそれだけではありません。大変な瞬間もありますが、それ以上にやりがいを感じられる仕事です。進路選択の際にも情報が少ないと感じたので、市にももっとオープンに知る機会をつくってほしいです。

佐 障がい児と地域の方が交流できる場を広げていきたいです。交流を通じてこどもたちの表情や言葉がどんどん豊かになっていくのを実感しています。ただ、夏は暑くて外遊びが難しく、室内



遠 林業のイメージを変えていきたいです。木を切るII自然破壊というイメージがありますが、実際には成長しすぎた木はCO2を吸収しなくなるため、適切な伐採と管理が必要です。アカデミーで学んだことを活かして、若い人たちにも林業のリアルを伝えていけたらと思っています。

議 遠藤さんは、先日の大船渡の林野火災はどう見えていますか？